

第143回 豊見城市学童軟式野球大会 開催要項 (第16回 JAおきなわ豊見城支店杯争奪学童軟式野球大会)

1. 目的 軟式野球に親しむ児童に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における児童スポーツクラブの振興を図ると共に 21 世紀を担う児童の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 共催 JAおきなわ豊見城支店
4. 後援 豊見城市教育委員会
5. 期日 令和5年2月4日(土)・5日(日)
※新型コロナウイルス感染症による、感染状況に伴い延期もしくは中止となる場合がありますのでご了承ください。
6. 場所 豊見城市瀬長島野球場
7. 開会式 令和5年2月4日(土) 午前8時30分 瀬長島野球場
※集合場所：瀬長島野球場A球場 ピッチャーマウンド後方
※集合時間：午前8時00分
※新型コロナウイルス感染症による、感染状況に伴い内容の変更もしくは中止となる場合がありますので予めご了承ください。
8. 試合開始時間 1日目：午前9時30分予定：1回戦・2回戦 瀬長島野球場 ほか
2日目：午前9時30分予定：準決勝・決勝 瀬長島野球場
9. 参加申込 申込書を、令和5年1月16日(月)午後5時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メールでも可 tomitai02@tomitaikyou.org
10. 参加資格 (1)豊見城市に住所を有している児童で、構成し豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム(2022年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム)。
(2)2022年度沖縄県野球連盟に登録しているチーム。
(3)2022年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(4)参加チームは、1チームとする(2チームの参加できない。)
11. 参加料 参加料 4,000円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
※抽選会及び監督会時に徴収します。
12. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
13. 監督会及び抽選会 令和5年1月24日(火) 受付午後7時00分 抽選会午後7時30分
豊見城市社会福祉協議センター 2階 レク室
※抽選会は監督・主将のみが参加すること。

14. 表彰 優勝チームには、賞状・優勝旗・優勝盾、準優勝チームには、賞状・楯を授与する。
また、共催のJAおきなわ豊見城支店より、今大会の優勝・準優勝チームには、メダル・ボールを授与し、前回優勝チームには優勝盾（レプリカ）を授与し、全参加チームへ記念品の贈呈が行われます。
~~なお、入場行進が堂々たる風格の2チームには行進賞を授与する。~~
15. 派遣 優勝・準優勝チームは、沖縄県学童軟式野球大会に推薦する。
16. 運営方法 豊見城市スポーツ少年団役員及び各チームから推薦された審判員で大会を運営する（原則として、審判は、審判講習会を受講した者）。
審判に割り当てられたチームの責任者及び監督は、責任をもって審判を派遣すること。
審判に派遣された者は、審判ユニフォーム、審判用帽子、審判用スラックス紺又はグレーとし審判用帽子・黒の靴を着用すること。サングラスは禁止。
17. 試合方法 (1) 試合方法は、全試合トーナメント方式とし、6回までとする。
但し、試合開始後、1時間30分経過以降は、均等回完了をもってゲームは終了とする。6回終了して同点の場合は、7回から特別延長戦を2回行い、それでも同点の場合は、抽選を行う。
(2) 試合時間制限は、1時間30分とする。
なお、1時間30分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず、直ちにタイブレーク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつかないときは抽選を行う。

※タイブレーク方式（特別延長戦）

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

- (3) 試合開始時間は、主審のプレイボールのコールからとする。
(4) 3回で10点差、5回で7点差の場合は、コールドゲームとする。
(5) 日没、降雨によるコールドゲームは、5回終了で成立する。
(但し、決勝戦を除く)。
なお、5回以前で中止の場合は、豊見城市スポーツ少年団事務局の指定した日時・場所において、継続試合を行う。
(6) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
~~(7) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。~~
(8) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球 NAGASEKENKO ボールJ号とし、大会本部で準備する。
(9) 本大会は2022年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
(10) メンバー表は各チームで準備し、試合開始10分前に3部提出する。
準決勝、決勝は4部提出する。
(11) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
(12) ベンチに入れる人数は、本大会の申込書に記入した者で、選手20名・監督1名・コーチ2名以内・チーム責任者1名・マネージャー1名・スコアラー1名とする。但し、水分補強の補助員として2名まで入れるものとする。帽子は同一、服装はチームTなどを着用する。半パン、草履履きは禁止とする。
(13) 背番号は0番より99番迄とし、監督は30番、コーチは28,29番とする。主将は10番とする。
(14) ベンチ内でのサングラス禁止とする。
(15) ベンチ内へのイスの持ち込み禁止とする。

- ~~(16) 入場行進の際は、必ずチームユニフォーム・帽子を着用する。~~
- (17) 守備の時間が長い場合(概ね 20 分)には、健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試合時間を含めない。)
- (18) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1 人の投手は、1 日 70 球以内を投球できる。試合中に 70 球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。(但し、4 年生以下は 60 球以内)

学童部・少年部の投球制限について

- ①70球以内(4年生以下60球以内)
 - ②試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
 - ③ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。
 - ④タイブレークになった場合、1日規程投球数以内で投球できる。
 - ⑤牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
 - ⑥投球数の管理は、大会本部が行う。
- (19) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。
- (20) ホームベースは、一般用を使用する。
- (21) 今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、以下の注意点を監督・指導者・選手・観戦者とも確実に守って下さい。ご理解ご協力をお願いいたします。
- 手指のアルコール消毒を行う。消毒液は、事務局・各チームにて準備して下さい。
 - 観戦者は、マスク着用です。マスクは各自で準備して下さい。
 - 応援は、大声を出したりすることは禁止いたします。鳴り物も禁止致します。観戦に徹して下さい。(ベンチ内)
 - 観戦時、隣の人との間隔はできる限り空けてください。開けられない場合は、その限りではない。
 - その他、「豊見城市スポーツ少年団感染拡大防止対策措置に伴う活動実施について(通知)」に準ずる。

豊見城市学童軟式野球低学年大会 開催要項

1. 目的 軟式野球に親しむ児童に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における児童スポーツクラブの振興を図ると共に 21 世紀を担う児童の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 後援 豊見城市教育委員会
4. 期日 令和 5 年 2 月 1 1 日（土）・1 2 日（日）
※第 143 回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
5. 場所 瀬長島野球場
6. 開会式 令和 5 年 2 月 5 日(土) 午前 8 時 30 分 瀬長島野球場
※集合場所：瀬長島野球場 A 球場 ピッチャーマウンド後方
※集合時間：午前 8 時 00 分
※新型コロナウイルス感染症による、感染状況に伴い内容の変更もしくは中止となる場合がありますので予めご了承ください。
7. 試合開始時間 午前 9 時 30 分（予定）
※第 143 回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
8. 参加申込 申込書を、令和 5 年 1 月 1 6 日（火）午後 5 時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メール：tomitai02@tomitaikyuu.org
9. 参加資格 (1) 豊見城市に住所を有し、豊見城市内の小学校に在学している 5 年生以下の児童で構成し、豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム（2022 年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム）。
(2) 2022 年沖縄県野球連盟に登録しているチーム。
(3) 2022 年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(4) 参加チームは、1 チームとする（2 チームの参加できない。）。
10. 参加料 参加料 2,000 円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
※抽選会及び監督会時に徴収します。
11. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
12. 監督会及び抽選会 令和 5 年 1 月 24 日(火) 受付午後 7 時 00 分 抽選会午後 7 時 30 分
豊見城市社会福祉センター 2 階 レク室
※抽選会は監督・主将のみが参加すること。
13. 表彰 優勝チームには、賞状・優勝旗を、準優勝・三位チームには賞状を授与する。

14. 運営方法 豊見城市スポーツ少年団役員及び各チームから推薦された審判員で大会を運営する（原則として、審判は、審判講習会を受講した者）。
審判に割り当てられたチームの責任者及び監督は、責任をもって審判を派遣すること。
審判に派遣された者は、審判ユニフォーム、審判用帽子、審判用スラックス紺又はグレーとし審判用帽子・黒の靴を着用すること。サングラスは禁止。

15. 試合方法 (1) 試合方法は、全試合トーナメント方式とし、6回までとする。
但し、試合開始後、1時間30分経過以降は、均等回完了をもってゲームは終了とする。6回終了して同点の場合は、7回から特別延長戦を2回行い、それでも同点の場合は、抽選を行う。
(2) 試合時間制限は、1時間30分とする。
なお、1時間30分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず、直ちにタイブレーク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつかないときは抽選を行う。

※タイブレーク方式（特別延長戦）

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

- (3) 試合開始時間は、主審のプレイボールのコールからとする。
(4) 3回で10点差、5回で7点差の場合は、コールドゲームとする。
(5) 日没、降雨によるコールドゲームは、5回終了で成立する。
(但し、決勝戦を除く)。
なお、5回以前で中止の場合は、豊見城市スポーツ少年団事務局の指定した日時・場所において、継続試合を行う。
(6) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
(7) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。
(8) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球マルエスJ号とし、大会本部で準備する。
(9) 本大会は2022年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
(10) メンバー表は各チームで準備し、試合開始10分前に3部提出する。
準決勝、決勝は4部提出する。
(11) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
(12) ベンチに入れる人数は、本大会の申込書に記入した者で、選手20名・監督1名・コーチ2名以内・チーム責任者1名・マネージャー1名・スコアラー1名とする。但し、水分補強の補助員として2名まで入れるものとする。帽子は同一、服装はチームTなどを着用する。半パン、草履履きは禁止とする。
(13) 背番号は0番より99番迄とし、監督は30番、コーチは28,29番とする。主将は10番とする。
(14) ベンチ内でのサングラス禁止とする。
(15) ベンチ内へのイスの持ち込み禁止とする。
(16) 入場行進の際は、必ずチームユニフォーム・帽子を着用する。
(17) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には、健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試合時間に含めない。)

- (18) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。(但し、4年生以下は60球以内)

学童部・少年部の投球制限について

- ①70球以内(4年生以下60球以内)
- ②試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ③ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。
- ④タイブレークになった場合、1日規程投球数以内で投球できる。
- ⑤牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
- ⑥投球数の管理は、大会本部が行う。

- (19) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。

- (21) 今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、以下の注意点を監督・指導者・選手・観戦者とも確実に守って下さい。ご理解ご協力をお願いいたします。

○手指のアルコール消毒を行う。消毒液は、事務局・各チームにて準備して下さい。

○観戦者は、マスク着用です。マスクは各自で準備して下さい。

○応援は、大声を出したりすることは禁止いたします。鳴り物も禁止致します。観戦に徹して下さい。

○観戦時、隣の人との間隔はできる限り空けてください。開けられない場合は、その限りではない。

○その他、「豊見城市スポーツ少年団感染拡大防止対策措置に伴う活動実施について(通知)」に準ずる。